

官民連携在り方検討特別委員会 総括質疑順序(案)

	順序	質疑項目・要旨	委員名
分類1 官民連携に係る 個別事業	1	(1) つきまち長崎横丁開業によるにぎわいの創出について 目玉となる店舗や、観光客などのニーズに合ったグルメやサービスの提供を行うなど、つきまち長崎横丁がさらに盛り上がるよう働きかけることに併せて、周辺商店会などとも連携して、開業による効果を最大限発揮できるような仕組みづくりを産官学連携して行うことが必要と考えるが、市の見解を伺いたい。	山崎 猛
	2	(1) 官民で連携したインバウンド対策について インバウンド対策においても官民で連携して、クルーズ客船で訪れた観光客向けに、例えば多言語対応のホームページで昼食場所を案内するような整備やキャッシュレスの推進を図るなど、受入態勢を整えて効果の最大化を図ってほしいと考えるが、市の見解を伺いたい。	山崎 猛
分類2 官民連携による 人口減少対策	3	(1) 長崎スタジアムシティ開業の効果について 長崎スタジアムシティが開業されて1年が経過し、多くの社員が採用されているが、長崎市の人口にどれくらい影響があったのか伺いたい。	五輪 清隆
		(2) 各種団体との意見交換について 人口減少の大きな要因は自然減であるが、このことについて、官民連携として各種団体と意見交換をしてはどうか。	五輪 清隆

官民連携在り方検討特別委員会 総括質疑順序(案)

	順序	質疑項目・要旨	委員名
分類3 官民連携の仕組み	4	(1) 官民連携の推進について 官民連携推進室の役割は、官と民をつなげることであり、小さな成功例を作り、官民連携推進室なしでも各所属で自立してできるようにするべきだと考えるが、市の見解を伺いたい。	山崎 猛
		(2) 役割分担と調整権限について 官民連携総合窓口及び担当部署が持つ調整権限の範囲をどのように定めているか。また府内他部署との役割分担をどのように整理しているか伺いたい。	高橋 佳子
		(3) 官民連携推進体制の強化について 官民連携指針の策定方針に示された「市役所組織の仕組みづくり」とは具体的に何を指すのかを伺いたい。	高橋 佳子
		(4) 官民連携推進室の強化対策について 各部署と民間のマッチングの役割をどのように進めていくのか伺いたい。	向山 宗子
	5	(1) 効果検証と公開方法について 官民連携の成果について、案件数のみでは判断できないことを踏まえ、職員の意識変化や連携の質も含めた指標（KPI）をどのように設定するのか。また、これらの指標を公開するのか、具体的に伺いたい。	高橋 佳子
	6	(1) 官民連携の在り方について 官民連携の手法については様々あるが、官民連携ポータルサイトを通じて行う連携の在り方として、包括連携協定や事業連携に加えて、実証実験サポートを追加すべきであると考えるが市の見解を伺いたい。 視察をした青森市では民間側が費用負担し、行政側は実験フィールドや行政データを提供することで役割分担を行い、様々な実証実験を行っていた。実証実験を経て事業連携することで、確実な事業効果の獲得、効率的な予算配分に繋がると考える。	林 広文
	7	(1) 官民連携による市民サービスの提供の持続可能性について 民間の調査会社によると、人手不足による後継者不足や物価高騰などで民間事業者の倒産が今後増えることが予想されている。 民間事業者の倒産が今後増えたとしても、官民連携による安定した市民サービスの提供は継続できるのかどうか伺いたい。	中里 泰則

官民連携在り方検討特別委員会 総括質疑順序(案)

	順序	質疑項目・要旨	委員名
分類4 官民連携の人材育成	8	(1) PPP／PFI事業について サウンディング調査について、行政側に提案を実現するために必要な体制や知見、ノウハウは充分か。また、課題解決のための人材育成の方策について伺いたい。	吉原 孝
	9	(1) さらなる官民連携の推進に向けた取組について 民間企業への派遣やインターンシップなどの研修、外部人材の活用などの継続実施が必要と考えるが、来年度以降の方針を伺いたい。	向山 宗子
	10	(1) 職員の意識向上について 職員の意識向上のために、研修会で官民連携の目的等を周知してはどうか。	五輪 清隆
	10	(2) 官民連携の意識醸成について 官民連携を進めるためには官と民が対等な立場で信頼関係を築いていくことが重要であると考えるが全庁的にそのような意識を高めていく考えはあるか伺いたい。	毎熊 政直
分類5 官民連携手法	10	(3) 官民連携推進室の強化対策について 官民連携の考え方をどのように職員に啓発していくのか伺いたい。	向山 宗子
	11	(1) 指定管理者制度やPPP／PFI等の適切な使い方について 指定管理者制度創設から20年以上経過し、多様な手法が新たに出てきているので、施設に応じ、適材適所に制度を使い分けてほしいと考えるが、市の見解を伺いたい。	山崎 猛
	11	(2) 官官民連携について 視察をした岩手県盛岡市では老朽化した市営野球場と同じく老朽化した県営野球場を再整備するにあたり、県市の共同整備としてPFI方式を採用している。(全国初の取組) 例えば、県立体育館と市立体育館は同じ体育館施設として、今後再整備するにあたってはいわゆる二重投資とならないよう、県市で共同整備するなど、本市でも県・市・民間が連携した取組を検討すべきではないかと考えるが、市の見解を伺いたい。	林 広文
分類5 官民連携手法	12	(1) 指定管理者制度について 指定管理者からは制度上の制約が多いとの声も聞くため、民間のアイデアやノウハウを取り入れる中で、利用者増や指定管理者の意欲向上につながる、利益が出るような仕組みを考えてほしいと考えるが、市の見解を伺いたい。	山崎 猛
	13	(1) PPP／PFI事業について 長崎市PPP優先的検討方針により、事業費総額（設計費・工事費）が10億円以上の事業についてはPPP手法の活用を検討している旨の説明があったが、今後の事業対象は具体的に考えているのか。	吉原 孝